

**科研バックエンド問題研究会**  
**「高レベル放射性廃棄物(HLW)処理・処分施設の社会的受容性に関する研究」**  
**第8回研究会**

**福島原発事故後の原子力政策の課題と展望**

主催: 早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>

共催: 早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)

**1. 趣旨**

東日本大震災・福島原発事故から6年が経過し、原子力政策は変化しつつある。安全規制に関しては原子力規制委員会が創設され、新規規制基準が打ち出された。また、核燃料サイクル政策では高速増殖炉もんじゅの廃炉が決定した。さらに、高レベル放射性廃棄物(HLW)最終処分については、科学的有望地(科学的特性マップ)を社会に提示し、国が前面に立って地方自治体に地層処分の文献調査受入れを要請する方針が決められた。

しかし、2016年中に公表予定であった科学的有望地(科学的特性マップ)の提示は先送りされ、避難計画と新規規制基準もリンクしていないなど、原子力と社会をめぐる課題は山積している。

このような状況をふまえ、本研究会では、福島原発事故後の原子力政策をめぐって、特に核燃料サイクル政策やバックエンド問題について、明治大学の勝田忠弘准教授をお招きし、お話をお聞きし、研究会メンバーなどとの討論・議論を行い、今後の日本の原子力政策のあり方について考えたいと思う。

なお、本研究会は科学研究費補助金・基盤研究(B)(16H03010)「高レベル放射性廃棄物(HLW)処理・処分施設の社会的受容性に関する研究」(研究代表者: 早稲田大学教授・松岡俊二、平成28年度～平成30年度)に基づくものである。

**2. 日時・会場**

日時: 2017年6月1日(木) 18:00～20:00

会場: 早稲田大学(早稲田キャンパス) 19号館7階713会議室

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

**3. 内容**

司会: 松岡 俊二(早稲田大学アジア太平洋研究科・教授)

報告: 勝田 忠弘(明治大学法学部・准教授)

「福島原発事故後の原子力政策の課題と展望」

討論: 師岡 慎一(早稲田大学理工学術院・特任教授)

**4. 申込先: 会場設定などの関係上、参加を希望される方はメールで事前連絡ください。**

【宛先】 jyuten-fukkou※list.waseda.jp (※を@ (半角) にして送信ください)

【件名】 6/1 研究会参加申込

【内容】 1. 氏名(フリガナ) 2. ご所属 3. メールアドレス